

第二浜田ダムだより

～第17号～

令和7年6月発行 島根県浜田県土整備事務所

洪水の発生しやすい季節となりました。

浜田川沿川では昭和初期から度々洪水被害を受けてきました。災害を受け、河川改修、ダム建設が進められてきました。6月15日～10月20日の期間は、増水期(出水期)と呼ばれ、前線や台風等による大雨、洪水被害が発生しやすい期間となります。日頃より災害への備えが大切です。



浜田川にある“ダム”を知ろう!

浜田川の上流には、浜田ダムと第二浜田ダム、2つのダムが完成しています。この2つのダムにはどんなはたらきがあるのでしょうか?

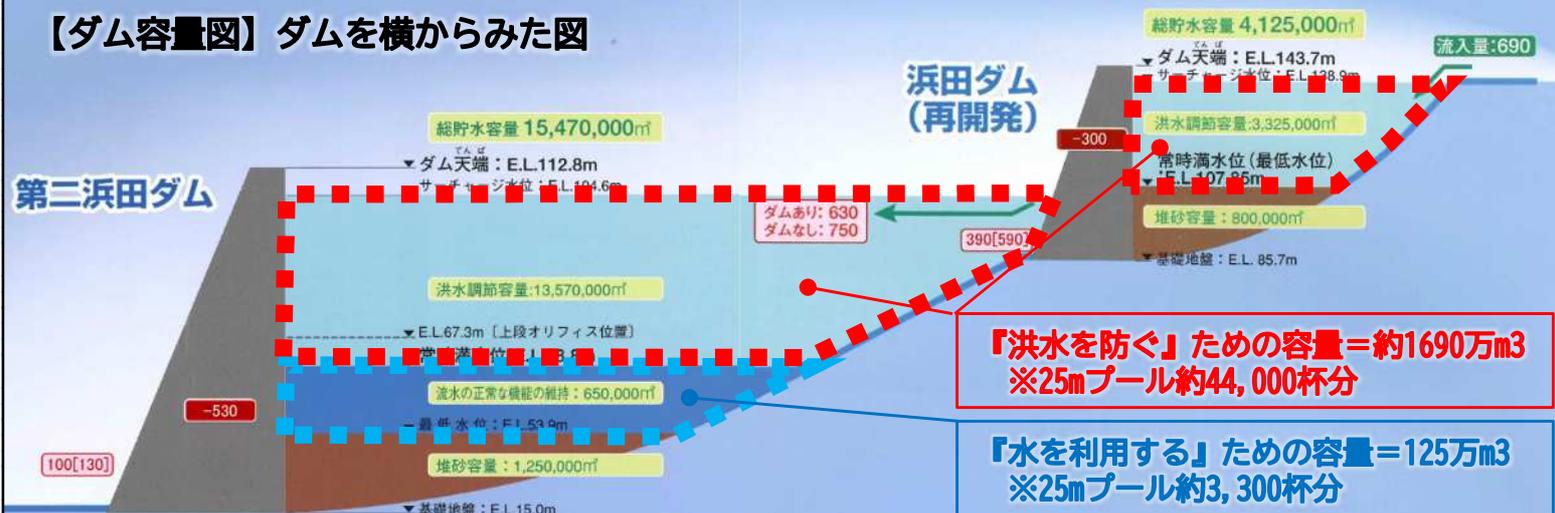
はたらきその1『洪水を防ぐ』

浜田、第二浜田の2つのダム上流に降った雨の一部を一時的にダムに貯め、川に流れる水の量を調節しています。

はたらきその2『水を利用する』

雨が少なく、日照りが続いたときには、ダムに貯めている水を少しずつ川に流して、川の生き物や田畑の農作物を守ります。

【ダム容量図】 ダムを横からみた図



第二浜田ダム (平成28年完成)



ここは「洪水を防ぐ」容量が一杯になると水が流れ出る放流口です
[非常用洪水吐と呼ばれます]

ココが普段水が流れ出る放流口です
[常用洪水吐と呼ばれます]

浜田ダム (令和2年再開発完成)



ダムが行う”警報活動”とは？

大雨により、次の①②の場合が予想される場合、ダムから警報活動を行います。

①ダム下流の“浜田川”で急激な水位上昇が予測される場合（30分で30cmの水位上昇）

②非常用洪水吐からの越流が予測される場合（『洪水を防ぐ』容量が一杯になった時）

この場合、沿川にお住まいの方、河川を利用されている方の安全確保のため、浜田川に設置されている5カ所の放流警報局から注意放送やサイレンを鳴らしたり、ダム警報車からも警報活動を行います。ダムの警報活動は、「第二浜田ダム～今井迫川合流点まで」の区間で行います。サイレン等が聞こえたら、すぐに川から離れて安全な場所へ移動してください。

日本海

警報活動区間と放流警報局の位置

浜田県土整備事務所

浜田川

中央図書館

今井迫川合流点

黒川

河内

三宮

第二浜田ダム

第二浜田ダム

浜田ダム

ダム警報活動区間

浜田市
根 県

赤色灯

スピーカー

中央図書館警報局



ダム警報車

ダム上流で降った雨は、一時的にダムに貯め込み下流に流れる水量を調節しますが、容量には限度がありますので、避難情報等を自主的に収集し、命を守る行動をしていただきますようお願いいたします。

ダム見学は、いつでもWelcome!

ダムでは見学を受け付けています。ダムの役割の説明をはじめ、普段入ることのできないダム内部などご覧いただけます。学校、町内会、有志等お気軽にご相談ください。



ダム豆知識

”自然調節方式”のダムとは？

第二浜田ダムの放流口には、“ゲート”がなく、水が流れるための”穴”が開いているだけで、その穴からダムに入ってきた水が自然と流れ出る構造です。ゲート操作のないこの放流方式を”自然調節方式”と呼びます。

”貯留型””流水型”のダムとは？

第二浜田ダムは常時、利水用の水を貯めていますので”貯留型”のダム、一方、浜田ダムは利水容量を持たず、洪水調節のみを目的としており、平常時の放流口が河床にあるのが特徴で、“流水型”のダムと呼びます。

第二浜田ダムに関するご意見、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

島根県浜田県土整備事務所

●ダム管理第二課

〒697-0041

島根県浜田市片庭町254

TEL:0855-29-5577

●第二浜田ダム管理所

〒697-0012

島根県浜田市河内町1952-2

TEL:0855-22-3051